

平成30年

雲南市議会 12月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成30年12月3日～12月5日】

平成 30 年雲南市議会 12 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	12/3(月) 9時30分～	18／堀江 治之	一問一答	1～2	11	12/5(水) 9時30分～	16／堀江 眞	一問一答	20～21
2		20／深田 徳夫	一問一答	2～5	12		1／上代 和美	一問一答	21～24
3	12/3(月) 13時00分～	8／細木 照子	一 括	5～7	13	12/5(水) 13時00分～	14／細田 実	一問一答	24～25
4		9／佐藤 隆司	一問一答	7～10	14		4／中村 辰眞	一問一答	25～28
5		5／原 祐二	一問一答	10～11	15		3／松林 孝之	一問一答	28～30
6	12/4(火) 9時30分～	10／藤原 政文	一問一答	11～13					
7		6／矢壁 正弘	一問一答	13～15					
8	12/4(火) 13時00分～	2／中林 孝	一問一答	15～17					
9		21／周藤 正志	一問一答	17～18					
10		7／白築 俊幸	一問一答	18～20					

平成 30 年雲南市議会 12 月定例会 一般質問通告一覧表

平成 30 年 11 月 30 日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	18	堀 江 治 之 (一問一答)	1. 人口減対策について 2. 災害時指定避難 施設の整備につ いて 3. 造林事業につ いて	(1)第 2 次雲南市総合計画(まち・ひと・しごと創生雲南市総合戦 略)において、平成 36 年(2024 年)の目標人口を 36,500 人として計 画されているが、現状での達成見込はどうか伺う。 (2)人口の社会増への挑戦として、人口減対策が計画されてい るが、計画達成見込はどうか伺う。 (3)人口 36,500 人の目標達成が厳しいとすれば、後期計画策定(平 成 32 年～平成 36 年)において、目標人口の変更の考えはあるのか 伺う。 (4)地方創生において、各地方自治体が人口減対策を取り組まれて いる中、雲南市として有効な人口減対策の秘策はあるのか伺う。 (1)災害時の指定避難施設は重要な施設となるが市内で何箇所施設 指定されているのか伺う。 (2)避難施設は安全で過ごしやすい環境を整える必要があるがその 整備状況について伺う。 (3)整備が不十分な施設があるとすれば今後の整備計画について伺 う。 (1)市有林の造林事業について ①市有林の造林面積・材積は現在どのようになっているのか伺う。 ②造林林材は現状で概算の資産価値はどのような状況にあるのか伺 う。 ③良質材生産のための造林地管理に巡視員等職員配置は考えられな いか伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(2) 島根県林業公社と分収造林契約をされている造林事業について</p> <p>① 島根県林業公社の経営が大変厳しい状況と聞すが、どのような状況なのか伺う。</p> <p>② 現在契約されている公社・雲南市・土地所有者の処分時の分収率について伺う。</p> <p>③ 分収契約による現状の造林面積・材積はどのような状況なのか伺う。</p> <p>④ 分収契約による雲南市の、得られるであろう資産価値は現在概算どの程度になるのか伺う。</p>	
2	20	深 田 徳 夫 (一問一答)	1. 雲南市の総合戦略について	<p>(1) 安倍首相が臨時国会の所信表明演説で、地域課題の解決に挑む若者を育てる雲南市の取組みを取り上げ地方創生をアピールした。この発言によるチャンスを市としてどう生かすのか。</p> <p>(2) 島根県の2017年度の人口動態の社会増が17年ぶりに転入超過に転じたと報道された。本市は、転入超過の自治体に入っていない。県内の1市3町が去年は社会減であった中での逆転だ、雲南市の実態はどうか。</p> <p>(3) 他自治体の転入超過施策などを分析し、要因を探るべきと思うがなされているか。</p> <p>(4) 人口超過策の中の大きな要因は働く場所の確保だ、本市は現在企業団地の造成で企業誘致はこれからだが、就労人口の減少が顕著でもある、働き方改革も含めてどのような対策が必要と考えるべきか。</p> <p>(5) 一極集中は極端な政策を国が打ち出さない限り歯止めは効かない。女性に魅力を持ってもらう施策が必要であり、その一つが魅力ある企業誘致も必要である。企業誘致のターゲットを何処において活</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 中国電力原発の 2・3号機申請につ いて</p> <p>3. トロッコ列車の 存続に向けて</p>	<p>動されているか。</p> <p>(6) 県内でも昨年度はUターン・Iターンが減少しているようだ。移住等促すには安心して住み続けられるサポートが大切だ。市としてそのPRとサポート体制ができているのか具体策を問う。</p> <p>(7) 総合戦略の人口減少対策の最終年度に向かうが実績と今後の課題の分析によって次に生かす方策はなされているか、その取り組みを問う。</p> <p>(1) 原子力規制庁が中国電力の原子力3号機申請を申請内容の不備を厳しく指摘された。これだけ住民が賛否に分かれて議論する原発問題であるにも関わらず、門前払いの申請など大企業の中電にあってはならない、どう説明を受け、どう対処したか。</p> <p>(2) 中国電力は、2号機の津波や火山の評価が確定後、3号機に反映させると説明している。中国電力の安全性に対する認識・姿勢に疑問を抱かざるを得ない。安全性が指摘の中でクリアしていなければ、クリアした時点で今一度各自治体に差し戻して、申請の可否を問うのが筋ではないかと思うが如何か。</p> <p>(3) 門前払いが続いて2号機にも起きた。中国電力には猛省と住民説明会をすべきではないかと思うがどうか。</p> <p>(4) 不備が続くと市民の意識にも変化が起きると想定される。執行部としての市民への説明責任を問う。</p> <p>(1) 先般島根県知事とトロッコ列車奥出雲おろち号に同乗させていただいた。知事は「木次線は大切な地域資源、見どころを宣伝し、多くの乗客に乗ってもらえるよう支援したい」とコメントされた。おろち号は2020年度に車体の耐用年数を迎える。現在の更新の進捗状況</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 雲南市立病院の 今後について	<p>は。</p> <p>(2)遠く of 山々はきれいな景色であったが、間近な沿線は雑木で覆われ残念ながら風光明媚とは言えない。市民の皆さまの協力を得て、雑木の伐採、或いは広葉樹の植栽など環境整備の今後の対策は如何に。</p> <p>(3)トロッコ列車の運行は、木次線存続利用促進に欠かせない資源である。伐採等に取り組んでいただける方について、助成制度などの支援を行う必要があると思うが、検討されてはどうか。</p> <p>(4)木次線利用促進を市民の皆さまに促すには、率先した職員の利用が欠かせない。職員の利用の実態と実績は、また職員にはどのような指導をなされているか伺う。</p> <p>(5)市長は分刻みの出張であるが、たまには列車利用の出張も、思考の時間が多くなり、一層の政策に磨きがかかるのではないか。</p> <p>(1)長い間松井事業管理者は、医師としてまた雲南市立病院の経営の牽引者として尽力され、来年3月をもって勇退されると発表があった、その功績は計り知れないものがある。松井事業管理者は将来の雲南市立病院に何を期待されているのか、また、同様に秦副管理者も勇退と伺っている。事業管理者と同様将来の雲南市立病院に何を期待するか伺う。</p> <p>(2)2019年度初期臨床研修医が島根県最多の64人が内定したと発表があった。雲南市立病院は基幹型でなく協力型の医療施設ということで対象者はいない。医療の拠点病院として総合医を目指す後期研修医の育成に力を注がれている。その実績と両管理者の退職に伴う将来の医師確保につながる基幹型病院を目指す意気込みに影響はないのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 新 TPP の発効と食の幸発信事業について	<p>(1)いよいよ新 TPP が 12 月 30 日発効する。市の農業に与える影響はどの分野等なのか分析され、その対策を早急にたて平成 31 年度の予算に反映すべく検討されているか伺う。</p> <p>(2)本市の農業は高齢者農業であればこそ厳しい状況が待ち受けている。6 次産業化としての構想発表から足掛け 5 年、紆余曲折のプロジェクトがいよいよ動き出した。JA しまね雲南地区本部は事業コンセプトとして「地産地商への新たな挑戦」を掲げたが、市が目指す基本方針の農業の振興、食関連産業の強化、交流人口の拡大のコンセプトは、新 TPP 対策につながるのか。</p> <p>(3) 1 日も早い完成が望まれるが、平成 34 年オープンは遅過ぎる。前倒しが必要と考えるが。</p> <p>(4)総事業費 7 億円では提案建築単価などから面積の縮小も考えられるとされていたが、提案規模等から事業見込みなどの収支見込みが立てられているとすれば、縮小は考えられないが如何に対応しようとしているか。</p> <p>(5)早期な事業とするためには、JA しまね雲南地区本部と連携する担当課・係の強化が望まれるが次年度以降の体制対応は如何に。</p>	
3	8	細 木 照 子 (一 括)	1. 公職選挙法の郵便等による不在者投票のあり方について	<p>(1)いま日本はかつてない高齢化社会が進んでいる。高齢者になると生物の掟として老衰が出る。運転をはじめ移動手段には、危険が伴い躊躇する。選挙の投票についても、投票所まで行く事が困難で、棄権されるケースもある。いまの「郵便による不在者投票」は、対象者が厳しく絞られている上に、手続き等が大変に煩瑣で、敬遠されても不思議ではない。1 つの案として、車で希望家庭を巡回する様な制度は考えられないか。現実社会に適した不在者投票の</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 有機農業への取り組みについて</p> <p>3. バイオマス発電による国の「地域エネルギー事業」への取り組みについて</p> <p>4. 「社会とつながる、かかわる介護予防」への取り組みについて</p> <p>5. 島根県警が「夜光反射材着用を当たり前に」する運動への支援について</p> <p>6. 茄子の生産支援</p>	<p>あり方について、改正するなどの働きかけが出来ないか伺う。</p> <p>(1)今までに日本で有機農業が行われたのは、全農地の0.5%だといわれる。国は18年度末までに1%まで倍増させる目標だといわれるが、世界の先進国に比べて日本は桁違いに少ない。有機農業は環境保全の面からも必要で、世界の潮流である。国へ対して、しっかりと取り組むよう働きかけが出来ないか伺う。</p> <p>(1)80%山に囲まれた雲南市で、木材や食品廃棄物などの「有機ごみ」を燃やして発電をするバイオマス発電で、国の「地域エネルギー事業」に積極的に取り組む考えはないか伺う。</p> <p>(1)くまもと健康支援研究所によると、デイサービスやデイケアを利用している要支援者の40%は、1年間で介護度が重度化していると言われる。これはデイサービスへ出ているからと安心して、家ではほとんど閉じこもり生活の人が多からだと言う。介護予防には運動、栄養の他に、人とのかかわり、社会とのつながりが大切だと言われる。市としても、積極的に「つながる」「かかわる」介護予防活動の支援はできないか。</p> <p>(1)日の短い時季になると、夕方の歩行者の存在が大変に確認しづらくなる。夕暮れから夜間の交通事故防止に役立つ「夜光反射材」の着用について、市としても反射材着用推進隊の推薦等、島根県警に積極的に協力して、この推進運動を支援出来ないか伺う。</p> <p>(1)高知県農業技術センターでは、茄子に含まれる血圧降下作用があ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			について 7. 自然災害に対する見方・考え方・対応の現状について	る「コリンエステル」に着目され話題となっている。この機能性表示が実現すれば、市でも積極的に茄子の生産を指導して欲しいが、考えを伺う。 (1) 自然災害により大きな被害の出た地域では、思わぬ場所に住宅があったりする。堤防1つを挟んで、川底と宅地が同じような高さに見えるところもある。建築許可などは、専門知識をもってもっと安全な場所へ許可する事は出来ないものか。古代の縄文・弥生時代の集落遺跡は、水はけの良い高台が利用されているという。そして地盤の固い場所が選ばれているという。現在の建築をされる場所の許可は、自然災害などを充分ふまえた対応と考えているか、伺う。	
4	9	佐藤隆司 (一問一答)	1. 安倍政権と市長の政治姿勢について	(1) 安倍総理大臣が3選を果たし、新たな内閣により政権運営がスタートした。 党内派閥を固め基盤が安定し「政権の信任投票」との見方の一方で、森友学園や加計学園をめぐる問題など行政や政治に対する国民の不信や不満は長期政権ゆえの「おごり」や「緩み」を危惧する声があると報道されている。 長期政権での国際的な外交などメリットも確かにあるが、「アベノミクスの3本の矢」にはじまり、「地方創生」、「一億総活躍」など次々と看板政策が打ち出されているが「アベノミクス」は、景気回復が必ずしも全国津々浦々まで波及していないことや「地方創生」は東京圏への人口流入に歯止めをかけることが掲げられたが、人口の東京一極集中は是正できず掛け声倒れの状況で、地方自治体はそうした政策に振り回されているように思えてならないが地方自治体の首長としての見解を伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 第2次総合計画と地方創生の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について</p> <p>3. 永井隆記念館建設事業と生誕111周年について</p>	<p>(2)2019年10月に消費税率を10%に引き上げるための対策を検討するよう関係閣僚に指示された。増税後の自動車や住宅などの購入を後押しし、駆け込み需要と反動減(需要の先食い)を最小限に抑える目的で、公共投資も増やし、増税後の需要喚起を早めに対策することや消費税による軽減税率を導入することで、消費の落ち込みの軽減を促すとされている。</p> <p>①10ヵ月後に迫る消費税の増税による税収増(年間換算)の見込みは。</p> <p>②消費税の増税による雲南市内経済に与える影響をどう予測されているのか。</p> <p>③消費税の増税に対する新年度予算での市の財政出動の対応は。</p> <p>④消費税の財源による幼児教育・保育の無償化の実施によるメリットとデメリットは。</p> <p>(1)2つの計画で目指す「人口の社会増」に向けた総仕上げの1年となるが、特に「住まい分野」「移住・定住分野」の施策が重要であると考え。</p> <p>①重要成果指標(KPI)「人口の社会動態」の実績の評価について伺う。</p> <p>②重要成果指標(KPI)「新設住宅建設戸数」の実績の評価について伺う。</p> <p>③需要に見合った分譲住宅地の確保が喫緊の課題ではないか。</p> <p>(1)小学校の学習発表会で6年生の広島への修学旅行と平和学習のまとめとして、「斐伊小6年が語るSADAKOストーリー」が演じられた。子どもから教わる「平和」への思いが感じられる大変感動的なパ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. スポーツ振興について	<p>フォーマンスだった。こうした素晴らしい取り組みを多くの市民に伝え、つなげていかなければならないと思いを強くした。</p> <p>①市長は、「永井博士は世界に誇る財産だ!」と言われている。「平和を」の都市宣言を合併1周年にされたことから市長の強い思いを感じる。永井隆記念館建設を機に「世界に誇る財産」を市民が共有し、再認識をすることで、更なる深化につなげていかなければならない。永井隆生誕111周年にあたる2019年度中に永井隆記念館が竣工する建設スケジュールであり「世界に誇る財産」をどのように情報発信をされる考えなのか。</p> <p>②永井隆平和賞の第20回記念事業には、市民や多くの皆さんに呼び掛けられ「千羽鶴を折る」取り組みには、市内をはじめ県内外から12万羽の「折鶴」が寄せられ、色とりどりの千羽鶴が式典のステージに飾られた。そうした、市民や誰もが参加し、関わりやつながりを深める取り組みは、永井隆記念館建設の必要性や重要性、「平和を」「如己愛人」の再認識につながると考えるが、そうした取り組みについて伺う。</p> <p>(1)平成28年12月一般質問で「島根国体2巡目誘致が必要だ」と期待して2年が経過した。愈々、2029年開催に向けて着実に進められている。東京2020オリンピック・パラリンピックまで600日、10年後には2巡目の島根国体がせまる中、市のスポーツ振興策が市民に与える活力や健康維持増進、競技レベルアップに大きくつながっていかねばならない。</p> <p>①明確な目標が示された中で、新年度予算でスポーツ推進や健康維持増進策に力点をおく考えはあるのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>②10年後の島根国体を考えれば、現在の小学生世代の大活躍を期待するが、市としての重点競技種目の選定も必要だがどう考えられているのか。</p> <p>③スポーツライミングは、鳥取県は先進的な取り組みがされているが鳥根県の状況はどうか。</p> <p>④雲南市でのスポーツライミング競技の可能性を検討できないか。</p>	
5	5	原 祐 二 (一問一答)	<p>1. 国策への対応について</p> <p>2. 若者世代に選ばれる地域について</p>	<p>(1) 水道法の改正について</p> <p>① 水道事業の基盤強化に向けた、水道法改正案の背景について所見を問う。</p> <p>② 改正水道法案のポイントである、自治体が民間企業に運営権を設定できる仕組みが導入された場合、民営化の考えはあるのか。</p> <p>(2) 外国人材の拡大法案（入管法）の改正について</p> <p>① 本市における外国人労働者の実態（職種・人数・性別・年齢等）について問う。</p> <p>② 外国人への社会保障や日本語教育及び住宅提供等について、入管法の改正が行われた場合の本市における対応策は、予算を含め大丈夫なのか。</p> <p>(3) 地域維持特措法（骨子案）について</p> <p>① 自民党の国会議員有志による、地域維持措置法の骨子案についての所見を問う。</p> <p>(1) 6町における若者世帯（20代・30代）の人口減少率について問う。</p> <p>(2) 若者世代が住みやすい・住み続けたいと思う、コミュニティ（子育てサロン）について本市の取り組み状況を問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 園芸振興について</p> <p>4. 観光振興について</p>	<p>(3)若者世代への本市の住宅供給施策の成果と人口減少率の高い地域での住宅課題について問う。</p> <p>(4)若者世代への本市の子育て（保育）施策の成果と保育課題について問う。</p> <p>(1)水田の保全を保ちながら、稲作から園芸への実態（稲作労務の縮減を含む）と今後の具体的な転換施策を問う。</p> <p>(2)園芸品目の出荷拡大と季節的な出荷量の過不足の解消策として、空きハウスの利活用及び空きハウスの修繕費（ビニールの張替え等）について助成制度を問う。</p> <p>(1)豪華寝台列車・トワイライトエクスプレス瑞風バスの運行による、本市への効果とトワイライトエクスプレス瑞風バスを活かした、今後の観光誘客への施策を問う。</p> <p>(2)国民宿舎「清嵐荘」新築オープンを活かした、観光誘客への施策を問う。</p> <p>(3)現地でしか入手できない下水道のマンホールカードの人気に注目し、観光誘客を目的に本市マンホールカードの発行について問う。</p>	
6	10	藤原政文 (一問一答)	1. 災害時の対応について	<p>災害時、被害を最小限度に抑えるためには、適時、的確な情報が重要である。</p> <p>(1)情報伝達について</p> <p>①平成32年度中の整備が計画されている防災無線計画は、順調に準備は進んでいるか。</p> <p>②警報発令時の告知放送は、災害緊急情報に特化することにより、より伝わりやすいと思う。</p> <p>市民の方からいただいた声でもある。検討すべきと考える。見解を</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 農業について</p> <p>3. 人口動態と観光 行政について</p>	<p>伺う。</p> <p>(2)避難所について ①避難所の計画的な整備が必要と考える。特に、トイレの洋式化が急がれると思う。 現状および今後の計画について伺う。</p> <p>11カ国による環太平洋連携協定（TPP）、欧州連合（EU）との経済連携協定（EPA）および米国との貿易協定が本市の農業に及ぼす影響についてどのように想定し、その対応策について、米、和牛、養鶏、牛乳それぞれについて伺う。</p> <p>(1)農業振興は稲作から園芸作物に転換を図るべく進められているが、本年度の成果と課題、来年度に向けての方向性について伺う。</p> <p>(1)先日、発表された推計人口によると、本市の人口は、この1年間で782人減である。 島根県全体の傾向にあるように、自然減が増加し、社会減は縮小しているか。また、高齢者の社会動態はどうか。都市部に住む家族のところへ転居する傾向にないか。</p> <p>(2)来年度の予算編成にあたって、「人口の社会増」につながる事業は、優先的・重点的配分となっている。現状分析をした上での事業が必要となる。</p> <p>①25歳から30歳代の人口減が多いが、それに対応する事業は何か。 ②合計特殊出生率を求めるときに使われる15歳から49歳女性の人口減の割合が多い。それに対応する事業は何か。</p> <p>(3)人口減少が進む中、市内経済は縮小してくる。それを考えると関係人口、定住人口にも繋がる交流人口を増やすことが求められるの</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>ではないか。そのためには、戦略的な観光行政が必要と考える。そこで、以下について伺う。</p> <p>①2017年および近年の実績についてどのように捉えているか。また、どのような対策を講じたか。</p> <p>②経済波及効果の大きい宿泊客を増やす必要がある。現在進められている国民宿舎清嵐荘、ビジネスホテル建設は順調に進んでいるか。</p> <p>③誘客のためのPRも重要である。臨場感あふれる映像の利用を含め積極的なPR戦略が必要ではないか。</p> <p>④ガストロノミーツーリズム（食と観光を結びつけた旅行、あるいは、それにウォーキング、温泉を組合わせた旅行）、グランピング（快適さを兼ね備えた新しい体験型旅行。テント設営や食事の準備などの煩わしさから旅行者を解放した「良い所取りの自然体験」）、宿泊優待券等の戦略が必要だ。所見を伺う。</p>	
7	6	矢 壁 正 弘 (一問一答)	1. 森林管理について	<p>(1)平成 31 年度から、担い手がおらず放置されている人工林を公的に管理する「森林バンク」制度がスタートする。本市では管理がされていない人工林が森林全体の何%あるのか。</p> <p>(2)本市では、新たな森林管理システムとして説明があり、本市の林業振興モデル団地のうち 2 団地を選定し状況調査を実施することとされているが、今後、森林全体への調査も実施されるのか伺う。</p> <p>(3)この制度は、人工林だけでなく自然林にも適用可能なのか伺う。</p> <p>(4) この制度は「農地バンク」の森林版だと認識しているが、集約しても借り手となる林業経営者の確保が出来るのか伺う。</p> <p>(5)伐採効率などの条件が悪く借り手が見つからない場合、市町村が</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 有害鳥獣被害対策について</p> <p>3. 市営公営住宅について</p>	<p>無償で借り受けて森林組合などに整備を委託するとあるが、森林組合の過度の負担にはならないか伺う。</p> <p>(6) 林道・作業道整備や高性能機械の導入など公的支援も必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(7) 岡山県西栗倉村では、2009年から「百年の森林構想」事業に取り組み、森林バンク制度の成功例とされている。本市も森林バイオマス事業に取り組み成果も出ているが、建築用材や家具材としての木材利用にもっと力を入れるべきと思われるが見解を伺う。</p> <p>(1) 有害鳥獣被害は本市にとっても深刻な問題となっている。農作物への被害は多く報告されているが、このたびイノシシによる人への被害が発生した。雲南市鳥獣被害防止計画の見直し強化が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 計画の中で捕獲計画数が定められているが計画数を増やせないか伺う。</p> <p>(3) 現在、猟友会の協力を得て有害鳥獣駆除班を編成し駆除に当たっているが、捕獲計画数に満たない年度もある。全国的には「認定鳥獣捕獲等事業者」があり委託をしている自治体もある。本市も考えてはと思うが見解を伺う。</p> <p>(1) 雲南市公営住宅等長寿命化計画（案）が示され、15年後には現在の581戸から430戸まで減らすとの計画が出された。人口減少のなか削減は仕方ないが、ここまで大幅な削減を行い住宅不足などの支障は出ないか見解を伺う。</p> <p>(2) 比較的家賃の低い市営住宅へお住まいの高齢者世帯や低所得世帯は、建て替え等により退去を求められた場合でも行き場がないと</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 河川管理について	<p>言われる。本市として対策は検討されているのか伺う。</p> <p>(3) 除却により 1 自治会が消滅する団地もある。地元自主組織との協議が必要と思われるが見解を伺う。</p> <p>(4) 除却後の跡地利用の考えを伺う。</p> <p>(5) 政策空き家に対する計画が示されていない。本計画を進めるうえで必要ではないかと思われるが見解を伺う。</p> <p>(6) 高齢者世帯が増加するなか、シルバーピア（高齢者集合住宅）を建設する考えはないか伺う。</p> <p>(1) 豪雨による河川の氾濫が頻発した。近年、河川の堆積土の浚渫が進んでおらず危険な状態の河川を見かける。早急な対応が必要と思われるが見解を伺う。</p> <p>(2) 河川内の立木の生長も著しく、堤防より高くなった立木もあり流れを阻害している。対応が必要と思われるが見解を伺う。</p> <p>(3) 固定堰上流の堆積土のため水路への流入が阻害され、農業用水や消防用水利の機能が失われ防災上も危険な状態となることがあると聞くが本市の対応を伺う。</p>	
8	2	中 林 孝 (一問一答)	1. 市政運営について	<p>(1) 市職員の年齢構成は高齢者が多く若年者数が少ない。今後、定年退職により急速に職員数が少なくなることが想定される。対策が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 行政事務において小さなミスが散見される。職員教育とか抜本的な事務の見直しなど対策が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 清嵐荘新築工事などこの 1～2 年、大型投資が続く。その後も様々な投資をしていかなければならないが、どのようなものをどの程度の規模で想定しているか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 保育について</p> <p>3. 永井隆平和賞について</p>	<p>(4)今年も全国各地で災害が相次いだ。本市は水道耐震化率が県内で最下位との報道があった。現状について伺う。</p> <p>(5)水道は電気と並んで重要な市民生活上のライフラインであり、地震や風水害による影響は最小限に食い止めなければならない。水道の耐震化に向けどのような対策が必要か。</p> <p>(1)待機児童数の状況について伺う。</p> <p>(2)”ゼロ歳児“など低年齢児の待機割合が多くなる傾向がある。一億総活躍社会と言いながら産休後に働けない母親もあり子育て支援の充実が必要と考える。現状認識、原因と対策について伺う。</p> <p>(3)保育士の確保をどう進めるか考えを伺う。</p> <p>(4)3年前、「子育て支援員」制度ができた。本市内の「子育て支援員」の人数と保育所等の在籍者数について伺う。</p> <p>(5)「子育て支援員」制度を上手に活用すれば待機児童を減らすことができると考えるが見解を伺う。</p> <p>(6)「子育て支援員」の待遇改善も課題と考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)来年は改元が行われ、〇〇元年、1年となる。来年、永井隆博士は生誕111周年を迎える。永井隆博士の好きな「1」が並ぶ。永井隆平和賞を盛り上げるために応募作品を全国から募ることが必要だ。長崎や広島、沖縄など平和運動の盛んな県はもとより、更に広く全国から応募があるようにしなければならない。どのように進めていくか伺う。</p> <p>(2)また、再来年には永井隆平和賞創設30周年を迎える。記念すべき節目にあたり、どのような企画を考えているか伺う。</p> <p>(3)予定通り工事が進めば再来年の3月には新しい永井隆記念館が完</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 木次線の増収対策	<p>成する。友好関係にある長崎永井隆記念館と更なる連携が必要だ。考えを伺う。</p> <p>(1) J R 西日本は路線別に営業収支の管理を行っている。売上高や乗降客、利用者数など様々な指標があるが、木次線の存続・活性化のため本市としてどのような対策が必要と考えるか伺う。</p> <p>(2) 加茂中駅、出雲大東駅は対前年比で売上が増加に転じた。要因分析をどのようなことに考えるか、好事例を他の駅にどのように生かしていくか伺う。</p> <p>(3) I C O C A を木次線内にも導入してはどうか、見解を伺う。</p>	
9	21	周 藤 正 志 (一問一答)	<p>1. さくらのまちづくりについて</p> <p>2. 林業振興について</p>	<p>斐伊川堤防桜並木が日本さくら名所 100 選に認定されてから間もなく 30 年になる。さくらとオロチ神話をまちのイメージに掲げるなら、市がもっと主体的にさくらのまちづくりに取り組むべきだ。</p> <p>(1) 市内の数多ある桜の適切な保育管理を年間通して行うためには、専門のさくら守を公募で補い、体制を整える必要があるのではないか。</p> <p>(2) 20 年、30 年先のさくらのまちの姿が思い描けない。「さくらのまちづくりビジョン」を策定し、目標を定め計画的に推進すべきだ。経済効率だけでは日本の林業は成り立たない。しかし、これからの日本は世界的にも恵まれた豊かな森林資源を最大限生かしていかなければならない</p> <p>(1) 来年度から配分が始まる森林環境譲与税について、どのような使い道を考えているか。</p> <p>(2) 市産材の利用促進や木質バイオマス、新しい森林管理システムへの対応など、林業の課題は山積している。「林業ビジョン」を策定</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 教育問題について</p> <p>4. 災害対応と危機管理について</p> <p>5. 市民の声を届ける</p>	<p>し、目指すべき姿、目標をもって取り組むべきだ。</p> <p>(1)奨学金で破産する若者が増えている。こんな国は世界中どこにもない。奨学金返済に係る相談窓口が必要ではないか。</p> <p>(2)いじめが過去最多となった。SNS などによるいじめが増えているが、どのような対策がとられているか。</p> <p>(3)不登校も過去最多となった。さまざまな対策を講じても成果が出ないということは、現行の教育制度そのものが最早有効でないことを意味する。本市の現状と対策はどうか。</p> <p>(1)土砂災害や小さな河川の氾濫時には、消防団はどう対応するのか。</p> <p>(2)ライフラインの要である水道庁舎建替の設計が進められている。建設場所は水源地に隣接し地盤も弱い所だが、防災拠点として大丈夫か。</p> <p>(1)タクシーの乗務員が不足しており市民生活に影響が出ている。白タクが横行しないよう対策が必要ではないか。</p> <p>(2)車が運転できず買い物に行けないと困っておられる高齢者がたくさんいらっしゃる。実態把握はされているか。また、対策を改めて問う。</p> <p>(3)尺の内の国道 54 号の改良工事が遅すぎるのではないか。</p> <p>(4)木次公園の管理が不十分ではないか。</p> <p>(5)移住を主導するのは女性だ。女性の定住相談員が必要ではないか。</p>	
10	7	白 築 俊 幸 (一問一答)	1. 公共施設の適正化について	<p>平成 27 年度に策定された公共施設等総合管理計画について</p> <p>(1)この計画の目的について、改めて伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. インターネット環境の高速化について</p> <p>3. 畜産振興について</p>	<p>(2)この計画のもとに、昨年度、見直しが急がれる 66 の施設について、第1次行動計画表を策定し、本年度から4年間をかけ、地域や関係者と協議し、今後のあり方について結論を出すこととされているが、現在、協議を開始した施設はどれ程あるのか。</p> <p>(3)その協議の状況はどうか。</p> <p>(4)廃止、あるいは集約化とされた施設に早急な修繕等が必要となった場合、修繕等を行うのか、行わないのか。</p> <p>(5)「必要に応じ、行動計画表も見直しを掛けながら進めていく。」とされているが、「必要に応じ」とは、どの様な場合か。</p> <p>(6)協議が整わない場合の最終決着はどうなるのか。当初計画の変更もあり得るのか。</p> <p>(1)本市の現在の携帯電話の不感地域数、不感世帯数について伺う。</p> <p>(2)連担地では、フレッツ光等の高速通信サービスが始まっているが、周辺地域においては、そうした状況にはない。周辺地域においてもインターネット等の通信環境を強化することは、WiFi 利用への若者のニーズに応え、定住促進はもとより、空き家の活用あるいは IT 起業等を誘引するためにも、今や当然のインフラ整備であると思うがどうか。</p> <p>(3)ケーブルテレビの導入は、掛合町が一番早かったが、その分、老朽化も進んでいる。</p> <p>飯南町においては、2カ年かけて、全町を FTTH 化すると伺っている。本市の通信インフラの更新整備計画についての考えを伺う。</p> <p>(1)飯南町にある JA しまね畜産総合センターのキャトルステーションで病気が発生したと聞いたが、その状況、発生原因及びその対策に</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>ついて伺う。</p> <p>(2) 奥出雲和牛の改良をさらに進めるためには、次期の鹿児島全共に向けた戦略的な対策が必要であると思うが現在の状況について伺う。</p> <p>(3) 県外からの雌牛導入も市の導入事業で支援する必要があると思うが考えを伺う。</p>	
11	16	堀 江 眞 (一問一答)	1. 菅谷高殿の整備 について	<p>(1) 瑞風バスが運行して1年半が経過した。立ち寄り地の一つ吉田町も頻繁に大型バスの姿も見え徐々に観光客も増え瑞風効果が出つつある。しかし一方でバスの滞在時間も短く地元に経済効果がないという意見もある。</p> <p>① 市内立ち寄り所の効果と評価を伺う。</p> <p>(2) 地元で活発に活動する農事組合法人もある。このチャンスに積極的に関わられる仕組みづくりが必要ではないか。そこで伺う。</p> <p>① 元小屋、2番、3番長屋、村下屋敷などの文化財について活用方法を伺う。何ができて何ができないのか。例えば宿泊施設、レストラン、事務所等。</p> <p>(3) 駐車場または付近に地元産品を販売する常設施設が必要ではないか。例えば新鮮野菜の販売、土産店、喫茶などに活用できる施設等。</p> <p>(4) 鉄の歴史村地域振興事業団、吉田ふるさと村、雲南市観光協会等、様々な組織が、イベント情報、予約情報などを共有するシステムが必要と思うが現状と対策を伺う。</p> <p>(5) 菅谷高殿集落は指定された文化財はもとより集落全体が重要な文化的価値を有している。修理が必要な住宅も見受けられる。安全対策上はもとより重要文化財の景観保全の面からも行政の関与が必要</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 教職員住宅の維持管理について</p> <p>3. 給食センターの雇用について</p> <p>4. たたらば壺番地の設備について</p>	<p>と思うが、現在使える制度があるかもあわせ見解を伺う。</p> <p>(6) 菅谷高殿以外にも極めて重要、かつ貴重なたたら史跡が多く現存している。菅谷高殿周辺の鉄穴流し跡 また高速道路付近の大呂奥鉄穴流し遺構等、また掛合町八重滝たたら跡は往時を彷彿させる佇まいだ。それぞれの現地に説明看板設置が必要と思う。これら重要な遺跡群を今後どのように活かしていく考えか伺う。</p> <p>(7) 菅谷高殿周辺 カメラスポット周辺を含めて景観保全が必要。竹切、草刈りなど必要予算を確保して対応することが必要と考えるがどうか。</p> <p>(8) 高殿に生活道路が入っている。出入り口でもあり危険だ。将来的に迂回道路を考える必要があると思うが見解を伺う。</p> <p>(1) 教職員住宅にも改築または改修計画があるのか。</p> <p>(2) 具体的に田井小学校の教職員住宅の現状についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>(1) 統合学校給食センター他の指定管理者が公募により決定した。たまたまか閉鎖されるセンターの事業者が外れた。従業員さんから「これまで一生懸命作った給食がいけなかったのか」と非常に悩まれていると聞いた。悩みを解消する明快な説明を求める。</p> <p>(2) 従業員の今後の処遇について</p> <p>① 会社の変更、雇用の可否、通勤距離の延長等など不安を持たれている。早期に丁寧な説明が必要だが、見解を問う。</p> <p>(1) 授乳室と運転手の休憩室、外部電源の設置が急がれている。いつできるか伺う。</p>	
12	1	上代和美	1. 市長の政治姿勢	(1) 安倍首相は、来年10月から予定どおり消費税を10%に増税する	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 住宅リフォーム助成の拡充を</p> <p>4. 防災対策について</p>	<p>(1)住宅リフォーム支援事業は市内業者の仕事を増やす上でも、住宅リフォームを考えている市民にとっても良い施策であり、助成額に対する経済効果も昨年実績で12倍となっている。 事務事業マネジメントシートでは30年度までの期間限定施策となっているが、来年度も取り組むべきであると考えているが、見解を伺う。</p> <p>(2)下水道事業受益者負担・分担金の改定の提案があり、その特例として、平成31年4月から平成32年3月31日までの間、激変緩和措置として現行賦課額を提示されたが、下水道接続の呼び水にも住宅リフォーム支援事業はなると考える。業者からはもう少し周知をしてほしいとの声も聞いている。市として市内中小業者の応援をすべきである。</p> <p>(1)ここ数年頻発する大規模災害を経験し、どこでも災害が起こりうる状況が市民の中にも認識されつつある。自主防災の機運を高めるには、特に自治会単位の出前講座は有効と思われる。出前講座の講師となる職員の体制を広げるべきではないか。また、その地域の危険箇所、起こりうる災害の種類など具体的に説明をしてもらいたいという要望も聞いている。工夫をすべきと思うがいかがか。</p> <p>(2)平成29年、30年の災害で、市でも指定避難所の開設が行われている。避難所運営もマニュアル化が行われていると思うが、大規模災害が起こっている避難所では、さまざまな人権侵害が起こっていることを聞いている。弱い立場の人たちの視点が反映されるような避難所運営が必要である。避難所運営にあたる管理者(グループ)に女性は何人含まれているのか。</p> <p>(3)静岡県で始められた避難所運営ゲーム(HUG)は実際の避難所でど</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>のようなことが想定されるのか、状況をどう判断するのかを参加者みんなで考えるものである。平時にこそこのような研修をし、非常時に人権侵害が起こらない避難所運営が行われるようにすべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(4)大規模災害の教訓から、また減災の観点からも河川管理は重要なことである。市民からは河川に繁茂している立木の危険性も指摘されている。管理者である国・県に声をあげるとともに、市としても公共事業のあり方を大型開発ではなく、防災と老朽化対策に重点を移すことが必要ではないか。</p>	
13	14	細 田 実 (一問一答)	<p>1. 原発問題について</p> <p>2. 人権問題の取り組みについて</p>	<p>(1)中国電力は島根原発3号機の審査申請において、自然災害に関する記載が不十分なまま申請を行ったと報じられた。経過について雲南市に直接説明があったのか。</p> <p>(2)不備を知らず申請したのではないか、3号機の稼働に前のめりになる中電の姿勢があらわれて、住民の安全に配慮されていないのではないか。</p> <p>(3)申請内容について市はどのような説明を受けているのか。周辺自治体として申請内容について検証チームをつくる必要があるのではないか。</p> <p>(1)平成28年に人権に関する3つの法律が施行された。雲南市の具体的取り組み状況を伺う。</p> <p>(2)国会議員のLGBTなどの性的少数者に「生産性がない」などとする主張、差別的発言がある現状だ。また、「地域でも差別、パワハラ、セクハラなど現実があり、市が率先して取り組まないと良い地域づくりはできないよ」との意見をいただいている。どのように取り組む</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 永井隆記念館と 生い立ちの家につ いて 4. 施設の跡地利用 について	<p>のか。</p> <p>(1) 永井隆博士生い立ちの家を視察したが、「生い立ちの家」として宣伝できる状況ではない。今後の維持の方針を伺う。</p> <p>(2) 雨漏りも心配されるのではないかと。整備にかかる費用は概ねいくらか。</p> <p>(1) 旧市役所、旧掛合総合センター及びこのたびの大東総合センターの移転による跡地などどのように利用する考えか。</p> <p>(2) 現大東総合センターは町の中心にあり、景観上からも移転後の利用計画の早期策定と実施が必要だ。どのように考えているか。</p>	
14	4	中 村 辰 眞 (一問一答)	1. 公営住宅につ いて	<p>(1) 三日市住宅について 公営住宅等長寿命化計画（案）が示された。「住棟の現在の物理的特性による改善の必要性・可能性」の項目があり、検討内容として躯体の安全性、避難の安全性、居住性とされている。</p> <p>① 検討内容に防犯性能は含めなくても良いのか考えを伺う。</p> <p>② 三日市団地は改善不要とされている。判定根拠について伺う。</p> <p>③ 三日市団地は新旧の住宅がある。旧来の住宅の玄関は全面強化ガラスのすりガラスである。極めて防犯性能に劣っていると考えるが改修対象でない理由を伺う。</p> <p>④ 強化ガラスは割れる時には砕けると聞く。開閉時に砕けるとけがをする恐れがあるかと考えるが見解を伺う。</p> <p>⑤ 全面ガラスの玄関に対しては、建設部において設計者のデザイン性との説明を受けたことがある。公営住宅においては安全性を確保したうえでのデザインでなければならないと考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 基町住宅について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 学校のエアコン 設置について	<p>基町住宅は建て替えが進行している。現在の居住者に対しての説明会も行われ、丁寧に対応されていると信じている。</p> <p>①今まで行われた説明会の回数、参加世帯数を伺う。</p> <p>②説明会に参加できなかった世帯に対しての対応を伺う。</p> <p>③1階ワンルームタイプの建設戸数に対して希望者がオーバーしたと聞く。入居者の決定は公平性の弱い「じゃんけん」であったと聞くがその真偽を伺う。</p> <p>④高齢単身の現在の入居者から「保証人」についての相談を受けた。現在の基町住宅入居時に保証人を立てている。市が現在の入居者に保証人を求める事は新たに入居契約を交わすとの解釈なのか考え方を伺う。</p> <p>⑤2020年に改正民法が施行される。この改正では債権関係の規定の見直しが行われる。公営住宅入居時の保証人（連帯保証人を含む）については、近年の高齢化により単身高齢者等が増加傾向にあり保証人の確保が難しくなる。このことから国土交通省では「公営住宅管理標準条例（案）」（平成8年10月14日付け、住総発第153号建設省住宅局長通知）を改正し、保証人に関する規定を削除された。基町住宅においては平成31年（2019年）から順次移転が開始される。最初の移転者と最後の移転者の間には保証人に関して不平等が発生するのではないかと考える。移転希望者すべてが同一条件となるように、2020年に施行される民法を踏まえ、本市の条例の保証人に関する部分を改正することはできないか見解を伺う。</p> <p>11月7日に国の2018年度補正予算が可決した。この予算の中には学校の緊急安全確保策として公立学校の普通教室への設置費用と</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. パワハラスメント対策について</p> <p>4. 東京 2020 オリンピック・パラリンピックへの取り組みについて</p>	<p>して 822 億円が計上されている。本市の普通教室エアコン設置率は100%である。参議院予算委員会で公明党から、特別教室への設置費用にできないかと質問したことに対して、補正予算の執行状況を勘案しつつ自治体の要望も踏まえ状況を見極めるとの答弁を得た。</p> <p>(1) 国の交付金は、かなり有利な財源と考える。現在想定される設置計画と予算計画を伺う。</p> <p>(2) 体育館へのエアコン設置については、避難所に指定されていれば「緊急防災・減災事業債」の活用ができるとされている。避難所としての使用頻度等を考慮したうえで「緊防債」を活用しエアコンを設置する事についての考えを伺う。</p> <p>最近、パワハラスメントについての相談を受けるようになった。国においてもハラスメント防止対策に取り組み法改正を目指している。</p> <p>(1) 市役所及び市立病院のハラスメント全般に対する取り組みについて伺う。</p> <p>(2) パワハラスメントの定義をどのように解釈されているか伺う。</p> <p>(3) パワハラスメントに対する相談対応がどのように行われているか伺う。</p> <p>(4) ハラスメントに対しての相談にメールやラインなどが活用できないか見解を伺う。</p> <p>東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催へ向けて全国的に様々な動きが起こっている。来年には聖火リレーも行われますます盛り上がると思っている。本年 9 月愛知で行われたスペシャルオリンピックスナショナルゲームを現地で観戦した。大きなメダルをも</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>らい誇らしげな表情のアスリートたちが印象的であった。</p> <p>(1)オリンピック・パラリンピックのメダルを小型家電から抽出したリサイクル金属で作る「みんなのメダルプロジェクト」がある。この世界初のころみに本市も参加している。無料でパソコンを含む小型家電を回収してくれるので大変喜ばれていると聞く。本市の取り組み状況を伺う。</p>	
15	3	松林孝之 (一問一答)	<p>1. 中心市街地活性化事業について</p> <p>2. 小規模事業者こそ地域の担い手では</p>	<p>(1) SAKURA マルシェについて</p> <p>①工事が遅れると発表されたが、その要因と影響は。</p> <p>②全店舗足並みが揃ってオープンしなければならないが、未だ見通せない状況である。何が原因と考えるか。</p> <p>(2) 全体計画について</p> <p>①SAKURA マルシェの開店が遅れる影響で、他事業への影響は。</p> <p>②事業認定から早くも3年目となる。5カ年計画であるが予定されている事業は全て実施できるのか。</p> <p>③不転の決意を進める決意を改めて伺う</p> <p>(1) 地域人材について</p> <p>人手不足や人件費の高騰が相次ぎ、商工業者にとっては大変厳しい状況となっている。地元の小規模事業者こそ、地域内経済循環の担い手であると同時に、持続可能な地域づくりに必要不可欠な人材と認識している。事業者の減は地域力の衰退と直結すると考えるが、見解を伺う。</p> <p>(2) 地元事業者へのチャレンジ事業について</p> <p>地域を支える仕組みとして地域自主組織の活動は全国的にも高い評価を受けている。その人材育成としてチャレンジの連鎖を提唱され</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 商工会の活動について	<p>ているが、小規模事業者へのチャレンジ策を問う。</p> <p>①子どもチャレンジ分野 商工会青年部では「うんなに屋」という、仕事体験プログラムを企画している。子ども達に市内企業の存在をPRし、地域の仕事を知ることこそ事業承継の一端に繋がると考え、実行されている。「うんなに屋」を地域教育の重要な位置づけとし、充実強化させてはどうか。</p> <p>②若者チャレンジ分野 都会からのUIターンで起業創業、またビジネス展開へのアシスト等政策的に展開されているが、雇用の場の確保や地域内経済循環、更に人口の流出抑制の面からも地元商工業者の事業承継こそ一番重要なチャレンジではないか。</p> <p>③大人チャレンジ分野 イ. アンケートによると事業承継における課題は人材不足ばかりではない。経営の不安定さや経済全体の不透明さから懸念が広がっているのも事実である。「跡を継がせたくなる事業所」となるような経営強化支援策を講じるべきでは。 ロ. 日本全国、様々な社会情勢により人件費の高騰が止まらず、人が集まらない現状が続いている。人材の確保策をどうするのか。</p> <p>(1) 商工会は営利活動ができないことから、連合会や行政からの補助金と会員の会費で活動している。事業所の訪問、巡回、相談といったマンパワーが不足している。商工会に人的支援が必要ではないか。 (2) 商工会には青年部と女性部があり、災害ボランティアや高齢者福祉など、まさに若者目線、女性目線からの活動は貴重な地域人材である。今夏の豪雨において、商工会青年部は県下の部員に呼びかけ災害</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 事業承継について	<p>ボランティア活動を実施した。部員あたり 500 円の募金を呼びかけ、物資の調達を行い自費で行動された。地域で働く若者のネットワークが地域を支えている実例である。こうした活動に対し、迅速に資金的なバックアップで策を構築すべきでは。</p> <p>(1) 今全国的に人口減少社会がもたらす経済振興への最大課題は、事業承継が一番の課題と言われる。特に地方は人口減少が加速度的に進むことから、その懸念は顕著なものとなっている。「課題解決先進地」を掲げる本市は「事業承継＝人の承継＝地域の承継」として地元小規模事業者にスポットを当てた施策に着手しなければならない。市長の見解を伺う。</p>	